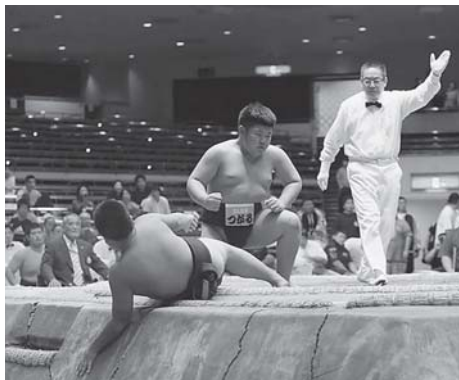


つがる相撲クラブが日本一

第10回全日本少年相撲選手権大会で優勝



優勝を決めた一番。相手を寄り倒す小関君



日本一を祝うつがる相撲クラブのメンバー（東京・両国国技館）



全国制覇を報告するつがる相撲クラブAの選手たち

第10回全国少年相撲選手権大会（10月13日、両国国技館）でつがる相撲クラブA（越後谷清彦監督）が2年ぶり2回目の優勝を果たし、少年相撲クラブの日本一に輝きました。大会には全国から79チームが参加し、つがる相撲クラブAは、予選を順当に通過。32チームで行われる決勝トーナメントを勝ち進み、決勝戦では宇土少年相撲クラブ（熊本）を3対2で破り、見事栄光を勝ち取りました。

選手たちは10月25日、福島市長に優勝を報告。越後谷監督は「決勝では優勝候補を破り、みんなで大泣きした。子どもたちはよくがんばった」と大会を振り返ると、福島市長は「優勝おめでとう。皆さんの力は本当にすごい」と大舞台での活躍をたたえました。

つがる相撲クラブA 選手たちの声

先鋒

長谷川 恵司 君
（向陽小3年）
148cm、85kg

大会では全部勝つことができた。前に出る相撲をもっと練習して（小関）拓道先輩みたいに強くなりたい。

中堅

鳴海 匠馬 君
（柏小5年）
155cm、60kg

決勝の相手は5年生のわんぱく横綱で、いつも以上に気合が入った。速攻で思い通りの形になり勝てて良かった。12月の全国大会でも優勝目指す。

大将



二陣

古坂 裕聖 君
（柏小4年）
142cm、50kg

決勝戦では負けてしまったけど、優勝できてうれしい。気持ちが強くなるよう練習して来年も優勝できるようにがんばる。

副将

小関 拓道 君
（柏小6年）
165cm、98kg

優勝がかかった一番は緊張したけど自分の相撲がとれて勝ててうれしかった。チームワークが良かったので優勝できたと思う。

越後谷 知樹 君
（木造中3年）
175cm、118kg

みんなで力を合わせて優勝できてうれしい。中学校最後に全国優勝できていい思い出になった。（後輩たちには）この調子でがんばって来年も優勝してほしい。

田中匠瑛さんが国体陸上800mで準優勝



国体で準優勝を果たした田中匠瑛さん

第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」の成人男子800メートルで青森大学4年の田中匠瑛さん（柏）が準優勝に輝き、10月10日、福島市長へ報告しました。

田中さんは決勝で1分49秒22の自己最高記録を出し、県新記録を更新。最後の100メートルの必死のラストスパートで2人を抜き準優勝を勝ち取った田中さんは「思い描いていたレースができた。目標としていた県記録（1分49秒59）を上回ることができたのは嬉しかったが、順位が2位は悔しい」と話し、「卒業後は実業団で競技を続けたい。世界陸上やオリンピックというさらに上のステージを目指して頑張りたい」と力強く今後の抱負を語りました。

集出荷氷温貯蔵施設建設工事の安全を祈願

農産物の長期保存により安定的集出荷を図るため、新たに建設されるつがる市集出荷氷温貯蔵施設の安全祈願祭が9月19日、車力町の社団法人屏風山野菜振興会の建設予定地で行われました。

新たな貯蔵施設は、鉄骨造一部2階建てで延床面積1,541㎡、冷蔵庫を4基備え、建設費は4億2000万円。氷温貯蔵することでニンニクの発芽を抑え、約180トンのニンニクを、品質を保ったまま貯蔵することが可能になります。

安全祈願祭には、市、工事関係者ら約60人が出席し、福島市長らが鍬入れの儀を行った後に玉串をささげ、工事中の無事を祈りました。

同施設は平成26年6月に完成を予定しています。



鍬入れの儀を行い工事の安全を願う福島市長

筆に込めた防火の願い



賞状を手に小野消防長と記念撮影

平成25年度防災作品授賞式が10月18日、市消防本部で行われました。同本部では秋の火災予防運動（10月21日～27日）の一環として、防災に関する習字作品を募集。市内小学校から282点が寄せられ、金賞から銅賞まで優秀作品30点が選ばれました。

授賞式では入賞者に表彰状が手渡され、小野消防長が「今後も火災予防に関心も持ってもらい、災害のないまちづくりに参加してください」とあいさつしました。

全応募作品はイオンモールつがる柏に展示され、火災予防運動に役立てられました。